

- 八. きめ細やかな話し合いの場を持つべし
町内会単位を基本とすべし
車座談義で、時間をかけてじっくり合意形成
コーディネーター役をかまえるべし

町内会への問題提起

コーディネーター役として

- ★コミュニティ計画推進市民会議員
- ★地域に住んでいるNPOで活動している人
- ★地域で活動する他の団体の人
(青少協とか体育会とか・・・)

コーディネーター役の人を探す、見つける、育てるために交流する場や勉強会を開催してはどうだろう

車座談義の
話し合い

合意形成

出された意見を
たたき台に
ワークショップ

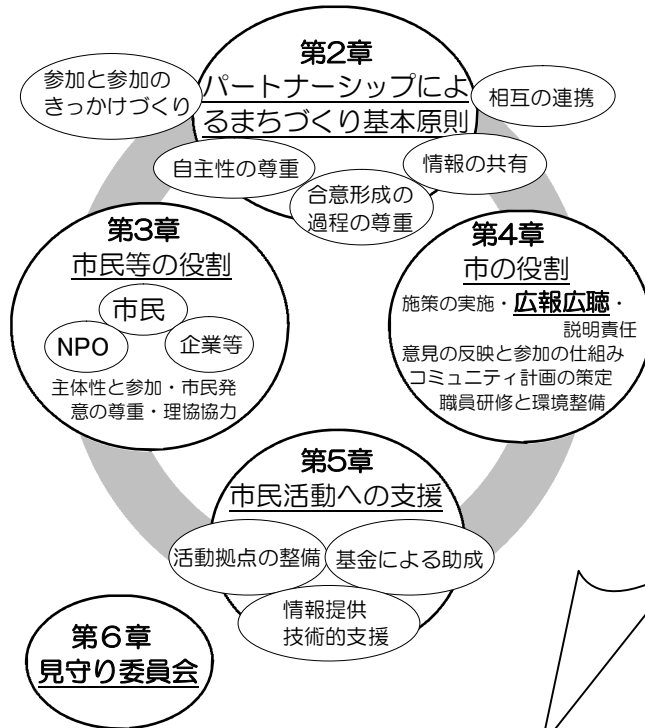
合意形成

広報・広聴は大きく 打てば
大きく 鳴るし 小さく
打てば 小さく
鳴るものなり

見守り竜馬くん



高知市市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例 愛称「まちづくり一緒にやろうや条例」



第2期条例見守り委員 (H18. 4～H20. 3)

委員長	神崎 健史	
副委員長	山崎 水紀夫	
委員	雨森 ひとみ	木村 重來
	石橋 照久	野崎 英明
	内田 洋子	畠中 智子
	岡田 法生	村田 弥生
	木下 くみ子	漁師 政子
	濱田 りえ (H18.4～19.4)	

【編集・発行】 高知市市民と行政のパートナーシップの
まちづくり条例第2期見守り委員会
【発行日】 平成20年3月

広報・広聴
このままで
えいかよ!!

はっさく
見守り八策



意見も
リーフレットも
捨てたらいかんぜよ



高知市市民と行政のパートナーシップの
まちづくり条例見守り委員会

条例知っちゃう？

～高知市の広報・広聴を今一度洗濯いたし申し候～

高知市では、平成15年4月に「市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例」を制定し、市民とのパートナーシップによるまちづくりを進めています。

この条例では、条例に基づく諸制度が、適正かつ円滑に機能しているかを見守るために、見守り委員会の設置が義務づけられています。

今回このまちづくり条例見守り委員会では、「高齢の方の意見はどうやって聞いたらいいのだろうか」ということに焦点を当てて、高知市の「広報・広聴制度」について検討を行いました。委員会で話し合った内容をもとに、このリーフレットを作成しましたので、今後の広報・広聴制度の参考にさせていただきたいと考えています。

条例見守り委員会が提案する
高齢の方が参加しやすい広報・広聴の八策
は以下のとおりである

一. 見やすい広報紙を追求すべし

人の集まる場所も活用してみんかよ

高齢の方にはチラシや広報の字の大きさも重要

二. 参加型のシンポジウム・講演会を開催すべし

聴衆から広く意見を求めることも重要ぜよ

三. 説明会は小さな単位を基本とすべし

まちづくりトークも行政区より小(中)学校区単位で

四. 参加しやすいワークショップにすべし

高齢の方は素案やたたき台があった方が話しやすいきに

五. 審議会等の年齢制限の上限を見直すべし

高知市成人の約2割が70歳以上ぜよ

六. パブリックコメント・電子会議室もやりゆうかよ？

高知市も広くなったし、これからの高齢者はインターネットも使うぜよ

七. 市民アンケートも大切ぜよ

身近な手段・アナログも必要ぜよ

第2期後期はこんな事を話し合いました



広報

- 広聴のためには知らせるのが大前提。広報が丁寧にされて初めて多くの市民が興味と関心を持つんじゃないかな。
- 説明会などのお知らせの手紙の行き先って大切だよな。そこだけで止まってしまう可能性があるもの。

課題

広聴

- 70歳以上の人を委員会の委員に選任しないというのは今の時代に合っていないと思う。
- 「合意形成」に至るまでの議論その他の過程を尊重してまちづくりを進める」これが大切!
- 今まで「協働」という言葉だけで「話し合いましたよ」をすっとばしてきたんじゃないかな。
- インターネットは一方通行だったり、パブリックコメントは十分な合意形成がなかったりするね。でも、市民が市政に関心を持つ手段としては有効かな。
- ワークショップでは意見が出しやすい。一方で参加者が集まらないのがネックだよな。

高齢の方って・・・こんな人？

- ★自分らあの時はこうやった、という比較ができる。
- ★戦中派といわれるような人が町内会のリーダー格に多い。自己主張もするが一旦約束して引き受けていただくと非常に熱心に取り組める。
- ★まちづくりの秘訣はそういう人たちに理解してもらって一緒にやってもらうと非常に心強い。

- チラシや広報の字のドットをあげることが必要だよな。
- TV局が無料で広報してくれる枠を取ってくれる仕組みがあればいいね。

解決案

- 高齢の方には誰かが気長に聞きながら「言葉を拾う」ことが大切じゃないかな。地域の先輩方に色々な意見を聞こうとしたら、じっくり腰据えて話しないと。
- 合意形成という意味でも町内会ぐらいの単位での話し合いの積み重ねを大切にしたいね。
- 地域での集まりが難しかったら、職場とか集まりやすい場所で話し合うことってできないかな。
- 自分の生活に身近なことだと話しやすいよね。突然大きな話を言われてもピンとこないね。
- モニター制度のような、積極的に参加できる方法を考えるべきじゃないかな。